

暴風と高波及び大雨に関する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

令和2年4月17日05時56分、「暴風と高波及び大雨に関する福島県気象情報第2号（福島地方気象台）」が発表されました。

（見出し）

発達する低気圧の影響で、海上は18日昼過ぎから東よりの暴風が吹き、しけるでしょう。また、中通りと浜通りでは18日昼過ぎから19日にかけて大雨となるおそれがあります。暴風に警戒し、高波や土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に注意・警戒してください。

（本文）**【気象状況】**

低気圧が18日は日本海を発達しながら東へ進む見込みです。また、前線を伴った別の低気圧が、18日から19日にかけて本州の太平洋側沿岸を発達しながら北東へ進むでしょう。低気圧の接近に伴い、東北地方は気圧の傾きが大きくなり、福島県には暖かく湿った空気が流入する見込みです。

【風・波】**<地域・時期・量的予想>**

海上では、18日昼過ぎから東よりの暴風となり、しけるでしょう。低気圧の動向によっては、大しけとなる可能性があります。

18日に予想される最大風速（最大瞬間風速）は

海上 20メートル（30メートル）

中通り・浜通りの陸上 13メートル（25メートル）

会津 12メートル（25メートル）

18日に予想される波の高さは 5メートル です。

その後も19日にかけてしける見込みです。

<防災事項>

暴風や高波による船舶や沿岸施設への被害のおそれがあります。海上では暴風に警戒し、高波に注意・警戒してください。陸上でも強風に注意してください。

【雨】**<地域・時期・量的予想>**

中通りと浜通りでは、低気圧の接近に伴い、湿った空気が流入するため、18日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけて、局地的に1時間に30ミリの激しい雨が降り、19日にかけて大雨となるでしょう。低気圧の動向によっては警報級の大雨となる可能性があります。

18日6時から19日6時までの24時間に予想される雨量は、

中通り・浜通りの多い所で 100から150ミリ です。

<防災事項>

がけ崩れ、山崩れ、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫のおそれがあります。警報級の大雨となる可能性がありますので、中通りと浜通りでは、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に注意・警戒してください。

【補足事項】

今後発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。

次の「暴風と高波及び大雨に関する福島県気象情報」は、17日16時30分頃発表する予定です。

【水 田】**(1) 事前対策**

ア 増水に備え、用排水路を点検しゴミ等を取り除いておきましょう。

イ 大雨により水路が増水している場合は、危険ですので近づかないで下さい。

(2) 事後対策

早急に排水を図り、乾田化するよう努めましょう。

【麦 類】**(1) 事前対策**

滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。

(2) 事後対策

地表面に滞水が見られる場合は、溝切りなどの排水対策を行いましょう。

【野菜・花き】

(1) 事前対策

- ア ほ場周囲の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきます。
- イ ほ場周囲に防風ネットを設置している場合は、ワイヤー・針金の緩みやネットの破損を点検し補修します。
- ウ パイプハウスの被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検し、ビニールの破損があれば補修します。
- エ ハウスでは、天窓や扉があおられたり風が吹き込まないように完全に閉めておきます。

(2) 事後対策

- ア 停滞水は、明きよなどで速やかな排水に努めます。
- イ 低気圧通過後は、ハウスや被覆資材各部の損傷、ゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修を行います。
なお、ハウス内に野菜等を作付中で、ビニールの修復が遅れる場合は、ハウス内の作物を低温や寒風から守るため、応急的にべたがけ資材等を被覆して保温に努めます。

【果 樹】

(1) 事前対策

- ア りんごのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場合は補強しておきます。
また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認します。
- イ 立木では主枝などの大枝が裂ける恐れがあるので、支柱を添え、折損などの未然防止に万全を期してください。
- ウ 果樹棚等の施設は、前もって点検し、強風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行います。
また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょう。

(2) 事後対策

- ア 滞水している園地では、明きよなどにより速やかな排水に努めましょう。
- イ 倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定します。
- ウ 大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させます。
また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分まで切り戻します。
さらに、傷口から病害などが侵入しないように、傷口の保護に努めます。
- エ 果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

【畜産・飼料作物】

(1) 事前対策

- ア 強風による畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎等の損壊及び風雨の吹き込みを未然に防止するため、屋根、扉、窓及び外壁等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等の応急措置を行いましょう。
- イ 特に、開放された飼料の保管場所では、乾草や稲わら等をシートで覆うなどして、風雨がかからないようにしてください。堆肥舎への風雨等の吹き込みも併せて防止してください。
- ウ あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機等による搾乳等ができるよう対策を行いましょう。

(2) 事後対策

- ア 畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょう。
- イ 豪雨により草地や飼料畑で土壌浸食が発生した場合は、早めに修復しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ

以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>